

(別記)

令和8年度長和町地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当町の農業は依田川沿いの標高の低い平坦地では水稻を中心とした土地利用型農業が行われ、南部の標高の高い地域では冷涼な気候を生かした花卉、高原野菜の栽培が盛んであるが、それ以外の農地の多くは傾斜地に存在する等、耕作条件が悪い農地の比率が高いため、大規模な土地利用型農業が発展しにくい地域である。

担い手については、水稻や花卉の作付け農業者に比較的若い世代の経営者も存在するが、新規就農者の減少、また他産業への生産者の流失等に伴い、農業従事者の高齢化・後継者不足が進行している。

標高差のある地域特性と複合経営が大宗を占める農業経営の実態を踏まえ、多品目野菜栽培の推進をする。

(小規模零細経営が多い地域性を考慮し、多様な担い手が多種多様な農産物を生産し、地域農業を支えていく体制づくりを推進する。)

特に水田においては、担い手が土地利用型農業に占める割合が年々増加傾向にあり、水田面積全体の約52%となっている。

高齢等を理由に多くの農業従事者が離農しており、農業後継者や引き受ける担い手が不足し、耕作放棄地面積が急激に拡大しており、今後も増大することが推測される。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

当町は標高が500m前後から1,400m前後までの広範囲に農地が存在しており、気候やほ場の条件が大きく異なる。また、中山間の傾斜面に多くの農地があり大規模な面的集積を行うことは困難であるが、農業者の所得向上を目指し、地域振興作物であるアスパラガス・ブロッコリー・加工用トマト・ハウレンソウ・ミニトマトの高収益作物の生産振興に注力すること及び標高差を活かした出荷時期の調整などによる販売戦略を行っていく。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

ほ場整備済の水田地帯では、水稻を中心とした担い手が営農しているため水稻を中心とした作付が行われ、山間に存在する狭小な水田については畑作物を主体とした転作田として数年間営農活動が行われている傾向が強い。

また、当地域はほ場により耕作条件が大きく異なること等によりブロックローテーションが行われてこなかったが、営農計画書等のデータや作付品目を確認するとともにその利用状況を精査し、地域計画による担い手への農地集積や高収益作物畑地化支援の活用を検討しながら水田の有効活用のためブロックローテーションを目指していく。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

需要に応じた米の適正生産のため、水稻の効率的な生産体制づくりを推進する。

令和7年度生産面積226.8haを目安とし、非食用米、畑作物等への転換を図り、県の米基本計画に則り計画生産を進め、消費者、実需者に選ばれる高品質な米作りを関係者が一体となり進める。

(2) 備蓄米

取組予定なし。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

取組予定なし。

イ 米粉用米

主食用米の需要状況、実需者との意向を踏まえ複数年契約の推進を図る。

ウ 新市場開拓用米

取組予定なし。

エ WCS 用稲

取組予定なし。

オ 加工用米

主食用米の適正生産に対応するため、加工用米への転換を推進する。

加工用米の供給過剰による価格の下落が懸念されるなかで、地域の実需者との結び付けを強め、実需者が望む品種・品質に取り組み加工用米の生産拡大・価格の安定を図る。

また、生産性・低コスト化に向けた技術として、温湯種子消毒による薬剤費の削減の取り組みを推進する。

加工用米： R7 年度作付面積 5.9ha、R8 年度作付予定面積 0ha

実需者は J A 全農及び地域流通にて日本酒の掛米の用途に用いられている。

なお今年度は J A での加工用米の取扱いがなかったため、取組予定なし。

(4) 麦、大豆、飼料作物

麦・大豆は、生産技術等を検討しつつ、需要に応じた生産と推進を図る。

また、飼料作物は畜産関係者とのマッチングを行い、需要に応じた生産を推進する。

小麦： R7 年度作付面積 0ha、R8 年度作付予定面積 0ha

大豆： R7 年度作付面積 3.8ha、R8 年度作付予定面積 3.0ha

(5) そば、なたね

そばは耕作条件が悪い農地の比率が高いため、冷涼な気候を生かした栽培を推進する。

特に山沿いの中山間地域で生産を行っている地域の中心となる経営体（認定農業者等）や中小規模農業者に対して、転作作物の主要作物として位置付け、産地化を図るとともに、水田の高度利用を推進するため、二毛作の普及率向上を図る。ダツタンそばの普及が進み、通常のそばより多く作付されるようになっている。

また、生産性向上の技術として、汎用収穫機の利用により作業の効率化を図る取り組みを推進する。

そば（交付対象外を含む）： R7 年度作付面積 39.2ha、R8 年度作付予定面積 39.0ha

特に収穫作業の遅れは脱粒や獣害等による著しい減収の要因となっている。

汎用収穫機を用いることで生育状況に合わせた適期収穫により増収を図り、高生産性農業による栽培を推進する。

なたね： 取り組み予定なし。

(6) 地力増進作物

長和町和田地域において盛んなグラジオラスや高収益作物の生産を推進しているが、地力増進をしないと栽培に支障をきたす作物や連作障害を緩和するため、地力増進作物であるれんげ、ライ麦、とうもろこし、クローバー、ソルガムやグラス類による地力増進を推進する。

R7 年度作付面積 0ha、R8 年度作付予定面積 0.2ha

(7) 高収益作物

ア 地域振興作物野菜（アスパラガス・ブロッコリー・加工用トマト・ほうれんそう・ミニトマト）

標高差のある地域特性と複合経営が大宗を占める農業経営の実態を踏まえ、多品目野菜栽培を推進する。

標高差を活かしたリレー栽培により産地化を推進し、転作奨励品目として栽培面積の拡大・生産振興を図る。

R7 年度作付面積 9.7ha、R8 年度作付予定面積 9.0ha(交付対象外を含む)

イ 花卉

担い手確保や担い手への農地集積を進めるため、特に和田地区については冷涼な気候を活かしたグラジオラスの栽培が盛んであることから、花卉の主要品種として生産振興を図る。

R7 年度作付面積 3.7ha、R8 年度作付予定面積 3.0ha

ウ その他一般作物、果樹・永年性作物

耕作条件が悪い農地や戦略作物の栽培に適さない標高の高い地域の特性を活かした生産振興を推進する。

特に中小規模農業者が多い現状から、直売所向けや夏秋取り作型として生産振興を図る。

R7 年度作付面積 5.1ha、R8 年度作付予定面積 5.0ha

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和8年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	226.0	0.0	228.0	0.0	228.0	0.0
備蓄米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飼料用米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
米粉用米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新市場開拓用米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
WCS用稲	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
加工用米	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
麦	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大豆	3.8	0.0	3.0	0.0	3.0	0.0
飼料作物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
・子実用とうもろこし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そば	39.2	0.7	39.0	25.0	39.0	25.0
なたね	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地力増進作物	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
高収益作物	17.2	0.0	16.1	0.0	16.1	0.0
・野菜	13.4	0.0	13.0	0.0	13.0	0.0
・花き・花木	3.7	0.0	3.0	0.0	3.0	0.0
・果樹	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
・その他の高収益作物	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
・〇〇	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
畑地化	0.5	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目 標	前年度（実績）	目 標 値
1	小麦・大豆・そば(基幹作のみ)	小麦・大豆・そばの生産性向上に向けた助成	実施面積の増(ha) 担い手実施割合の増(%)	(R7年度) 37.6ha (R7年度) 90.0%	(R8年度) 42.0ha (R8年度) 90.0%
2	そば(二毛作のみ)	そばの二毛作に対する助成	実施面積の増(ha) 二毛作ほ場普及割合の増(kg/10a)	(R7年度) 0.7ha (R7年度) 1.8%	(R8年度) 25.0ha (R8年度) 60.0%
3	グラジオラス(基幹作のみ)	グラジオラスに対する助成	実施面積の増(ha)	(R7年度) 2.3ha	(R8年度) 4.0ha
4	アスパラガス・加工用トマト・ブロッコリー・ほうれんそう・ミニトマト(基幹作のみ)	地域振興作物の販売・出荷に係る助成	実施面積の増(ha)	(R7年度) 9.7ha	(R8年度) 20.0ha
5	別添の作物リストに記載されている野菜・花卉・花木、その他一般作物、果樹・永年性作物(基幹作のみ)	その他作物の販売・出荷に係る助成	実施面積の増(ha)	(R7年度) 5.1ha	(R8年度) 10.0ha
6	別添の作物リストに記載されている地力増進作物(基幹作のみ)	地力増進作物への助成	支払い対象面積の増(ha)	(R7年度) 0ha	(R8年度) 1.1ha
7	そば、なたね(基幹作のみ)	そば、なたね(地域の取り組みに応じた配分)	支払い対象面積の増(ha)	(R7年度) 36.3ha	(R8年度) 42.0ha
8	別添の作物リストに記載されている地力増進作物(基幹作のみ)	地力増進作物の作付け(地域の取り組みに応じた配分)	支払い対象面積の増(ha)	(R7年度) 0.0ha	(R8年度) 1.0ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:長野県

協議会名:長和町農業再生協議会

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取 組 要 件 等 ※4
1	小麦・大豆・そばの生産性向上に向けた助成	1	7,000	小麦・大豆・そば(基幹作のみ)	小麦・大豆・そばの生産性向上に向けた取組
2	そばの二毛作に対する助成(二毛作)	2	5,000	そば(基幹作のみ)	そばを実需者等との販売契約に基づき作付した面積のうち二毛作分に対する取組
3	グラジオラスに対する助成	1	22,000	グラジオラス(基幹作のみ)	グラジオラスの作付・出荷・販売
4	地域振興作物の販売・出荷に係る助成	1	38,000	アスパラガス、加工用トマト、ブロッコリー、ほうれんそう、ミニトマト(基幹作のみ)	アスパラガス・加工用トマト・ブロッコリー・ほうれんそう・ミニトマトの作付・出荷・販売
5	その他作物の販売・出荷に係る助成	1	18,000	別添の作物リストに記載されている野菜、花卉・花木、その他一般作物、果樹・永年性作物(基幹作のみ)	対象作物の作付・出荷・販売
6	地力増進作物への助成	1	9,000	別添の作物リストに記載されている地力増進作物(基幹作のみ)	地力増進作物の作付けによる土壌改善、生産向上への取組
7	そば、なたね(地域の取り組みに応じた配分)	1	20,000	そば・なたね(基幹作のみ)	そばを実需者等との販売契約(自家加工も可能とする)に基づき作付した取組
8	地力増進作物の作付け(地域の取り組みに応じた配分)	1	20,000	別添の作物リストに記載されている地力増進作物(基幹作のみ)	地力増進作物の作付けによる土壌改善、地力増進への取組

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

産地交付金対象作物整理リスト

区分	内容
地域振興作物野菜	アスパラガス・ブロッコリー・加工用トマト・ほうれんそう・ミニトマト
野菜	きゅうり・トマト・なす・ピーマン・かぼちゃ・イチゴ・スイカ・メロン・食用ほうずき・キャベツ・はくさい・ねぎ・たまねぎ・レタス・だいこん・にんじん・さといも・れんこん・しょうが・じゃがいも・エンダイブ・カリフラワー・ケール・小松菜・山東菜・春菊・セルリー・タアサイ・チンゲンサイ・つけ菜類・野沢菜・パセリ・みずな・モロヘイヤ・オクラ・金糸瓜・ゴーヤ・白ウリ・スイートコーン・とうもろこし・ズッキーニ・トウガン・ホンウリ・ゆうがお・かぶ・菊芋・ごぼう・さつまいも・とうのいも・ながいも・みょうが・やまいも・ヤーコン・かんしょ・やまごぼう・ささげ・ししとう・しそ・セリ・とうがらし・にら・えだまめ・らっきょう・にんにく・タラの芽・ワラビ・青とうがらし・小豆・落花生・青豆・インゲン・エンドウ豆・そらまめ・その他野菜(えごま)
果樹・永年性作物	りんご・日本なし・西洋なし・もも・うめ・柿・くり・いちじく・キウイフルーツ・あんず・木イチゴ・銀杏・クルミ・すもも・ソルダム・びわ・ベリー類・プルーン・やまぶどう・マルメロ・ぶどう・さくらんぼ・さるなし・醸造用ぶどう
その他一般作物	花豆
花卉	アジサイ・イチイ・ウメモドキ・桜・シンフォリカルポス・スモークツリー・セツカヤナギ・ツルウメモドキ・南天・ビブナム・ヒペリカム・ボケ・紫式部・ユーカリ・レンギョウ・アザミ・アスター・アーティチョーク・アネモネ・アリウム・アルストロメリア・アヤメ・イブニングスター・エキナセア・エキノプス・エリンジウム・オダマキ・オーニソガラム・おみなえし・貝細工・カキツバタ・かすみ草・カーネーション・ケイカ・カラー・観賞用唐辛子・カンパニュラ・キキョウ・キク・金魚草・クジャクソウ・グラジオラス・クリスマスローズ・ケイトウ・コスモス・ササリンドウ・サマーチェリー・サンダーソニア・シクラメン・ジギタリス・秋明菊・女郎花・スイセン・スイートピー・スカビオサ・スターチス・ストック・スモークグラス・セロシヤ・千日紅・ソリダコ・ソリダスター・ダイアンサス・ダリア・チーゼル・チューリップ・デルフィニウム・トルコギキョウ・ナデシコ・バラ・ひまわり・姫ひまわり・ヒメユリ・日扇・風船とうわた・フサスグリ・ププレウラム・フリージア・ベビーコーン・ベニバナ・ヘリクリサム・ヘレニューム・弁慶草・ほうき草・ほおずき・ホトトギス・マトリカリア・マリーゴールド・ミシマサイコ・メジウム・モルセラ・矢車草・ユリ・ラークスパー・ラベンダー・ラナンキュラス・リアトリス・リオン・リンドウ・ルドベキア・ルピナス・レースフラワー・れんげ・ワレモコウ・はす・菜の花・ラン・アンゲロニア・トレニア・ネメシア・パンジー・ペチュニア・しゃくやく
地力増進作物	れんげ(地)・ライ麦(地)・とうもろこし(地)・クローバー(地)・ソルガム(地)・グラス類(地)・エン麦(地)